※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０１

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	国語演習Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	「必携　国語常識ベーシック　漢字・ことば・敬語・文学史」（数研出版） 「現代の語彙力向上の壺　語彙力をつける高める鍛えるノート」（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この科目は、社会人として求められる語彙や文章作成の力を身につけるための科目です。
・小テストや発表など、積極的に授業へ参加しましょう。
・指示された予習や出された課題は必ず行いましょう。
・提出物の期限は必ず守りましょう。

２　学習の到達目標

（１）社会人に求められる漢字の知識や語彙を活用する技能を身につける。
（２）場面に応じて、どのような表現や文章が適切であるかを思考・判断し、自分の考えを効果的に表現できる力を身につける。
（３）「毎時間、授業に必要なものをきちんと持ってくる」、「与えられた課題を期限内に完成させ提出する」、「授業で積極的に発言する」等、自主的に学習に取り組もうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付け、それらを適切に用いることができている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書いたり、的確に読み取ることができる。また、自分の考えを深め、発展させている。	授業に積極的に参加し、国語の力を高めると共に、言語文化に対する関心を高め、自ら積極的に理解しようとしている。目的や場面に応じて、他者の話を聞くことを通じて、自分の意見を効果的に述べられる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	・多様な文章を読む ・文章で伝える ・グループワーク ・語彙力 ［教材］ 「国語常識ベーシック」 基礎編 第1～8回 敬語編 第1回 日本文学史 第１回 「現代の語彙力向上の壺」 第1～5回	a：正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。 b[読]：各ジャンルの文章を読み、その内容について論理的に考え、情報を取捨選択することができている。 c：考えの進め方など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 相手の意図、発表の意図、問題の意図を正しく理解し、表現しようとしている。	テキスト点検 定期考査 小テスト	テキスト点検 定期考査	行動観察 振り返りシート
2学期	・多様な文章を読む ・意見文を書く ・意見を伝える ・語彙力 ［教材］ 「国語常識ベーシック」 基礎編 第9～12回 演習編 第1～12回 敬語編 第2～3回 日本文学史 第2回 「現代の語彙力向上の壺」 第6～8回	a：正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。：書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。 b[書]設問の内容に応じて、自分の考えや解答を適切な言葉で表現することができている。 c：考えの進め方など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 相手、発表、問題の意図を正しく理解し、表現しようとしている。	テキスト点検 定期考査 小テスト	テキスト点検 定期考査	行動観察 振り返りシート
3学期	・多様な文章を読む ・自己アピール文を書く ［教材］［教材］ 「国語常識ベーシック」 基礎編 第 13～20回 敬語編 第4～5回 日本文学史 第3回 「現代の語彙力向上の壺」 第9～11回	a：正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。 b[話／聞]： 発表の形態に応じて適切な表現の仕方をしようとしている。 c：考えの進め方など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。相手、発表、問題の意図を正しく理解し、表現しようとしている。	テキスト点検 定期考査 小テスト	テキスト点検 定期考査	行動観察 振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間